



南部児童館等複合施設「まつぼっくり」

まつぼっくり
令和8年(2026年)
2月1日(日)
OPEN!

南部児童館等複合施設「まつぼっくり」オープン!



清瀬の未来へ、出発進行! / みんなで楽しむ防災フェスタ /
生きる力をはぐくみ地域と共に歩む未来の学校 /
新しい遊具とトイレが完成! / 「清瀬市民感謝デー」レポート
KIYOSEのひと | 清瀬国際交流会 (KIC)
清瀬市観光協会の推し! | きよせ市観光大使公式 Instagram

夢空間
令和8年(2026年)
5月2日(土)
OPEN!

夢空間

まつぼっくる STORY

基本計画が決定してからの、中央公園を含めたこれまでの主な動きを紹介。

2022年3月

基本計画の決定

2022年9月～

基本設計の開始

2022年11・12月

市民ワークショップ実施

2023年4月～

実施設計の開始

2023年10月

中間報告会実施（2回）

2024年8月～

整備工事の開始
児童・生徒による
工事現場見学会実施

2025年4月～

複合施設の愛称公募・決定
工事現場見学会実施

2026年2月1日

I期：複合施設オープン

2026年10月

II期：公園全体オープン予定



館内の紹介



エントランスホール 外観 鳥瞰図
ROOM A ROOM B ROOM C
屋内ひろば 子ども図書コーナー 図書館
エチュード梅園（学習室） 読書テラス 公園テラス 多目的スペース

オープニングイベント

2月1日のオープニングイベントでは、屋内外で多彩な催しも行われました。子ども縁日や謎解きスタンプラリー、木工体験や生きものカメラマンによるワークショップなど、親子で楽しめる参加型プログラムが人気を集めました。また、昔懐かしの紙芝居やキッチンカーによるグルメも登場し、多世代でにぎわうイベントとなりました。



地域の子どもたちが集まっています！



清瀬市立中央公園内に整備された複合施設「まつぼっくる」が、2026年2月1日（日）にオープン！親子連れから学生、地域団体まで幅広く利用できる施設の魅力と、今後の整備についてご紹介します。



開放感のあるエントランスホール

子どもたちの笑顔溢れるみんなの新しい交流の場

清瀬市立中央公園のリニューアルに伴い、複合施設「まつぼっくる」が2026年2月1日（日）にオープンしました。本施設は、南部児童館、梅園地域市民センター、南部図書館の3つの機能を併せ持ち、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる交流拠点となっています。館内には開放感のあるエントランスホールや絵本・児童書が揃う子ども図書コーナー、卓球やマツト運動ができる屋内ひろば、学習室、約4万冊の蔵書を備えた図書館、会議室などを整備しており多くの子どもたちのほか、親子連れや学生、大

まつぼっくるでは、施設の利便性や多様な設備を活かし、現在プログラミング教室や朗読会、囲碁教室や体操教室といった多彩な催しが行われています。今後も地域の皆さんに愛される憩いの場として、多くの皆さまに引き続きご利用いただける施設です。

現在も中央公園全体については整備工事が進められており、工事完了は2026年10月頃を予定。リニューアルオープン後は、整備されたテニスコートやボール遊びが楽しめる多目的広場、カラフルな新しい遊具を利用できるようになり、完成後のさらなるにぎわいが期待されます。

子どもたちの笑顔溢れるみんなの新しい交流の場

人、高齢者、地域団体など、多様な方々による利用が広がっています。読書テラスや公園テラスでは自然を感じながらゆったりとした時間を過ごすことができ、日常の憩いの場として多くの市民に親しまれています。

自由に遊べる子ども図書コーナー



地域に広がる新たな交流拠点 南部児童館等複合施設 「まつぼっくる」

オープン！

場所：清瀬市立中央公園内（清瀬市梅園 1-2-77）
時間：9:00～21:00（水曜、年末年始休）
※梅園地域市民センターは22:00まで

ダイニングカーで食べられる復刻メニュー



復刻ビーフカレーセット

2,750円(税込)

※提供は11:00～、13:00～、15:00～
(各回90分制)



復刻ビーフシチューセット

4,400円(税込)

※提供は11:00～、13:00～、15:00～
(各回90分制)



「夢空間」復刻スペシャルコース

11,000円(税込)

※予約限定 / 2日前まで予約受付



ビーフカレーライス
1,210円(税込)

コースやセットメニューのほか、ラウンジカーでは、気軽に楽しめる軽食・スナック・デザートをご用意しております。きよせ棒や清瀬野菜のピクルスなど、清瀬市産の食材を使用したオリジナルメニューをお楽しみください！



グラタン
1,210円(税込)

2026年5月2日開業！
**特別な空間で
食事が楽しめる**

現役時に提供されていたコース料理を、当時のシェフ監修のもと見た目や味まで再現して提供します。懐かしさと特別な食体験を楽しめるほか、清瀬産の旬の食材を使ったメニューも展開予定。ランチや貸切利用、ラウンジでの軽食など多様な楽しみ方ができ、豪華客車ならではの雰囲気の中で特別なひとときを過ごせます。

(オープン時間 11:00-21:30)
休み 水曜日

予約はこちら▶



夢空間アンバサダーに
豊岡真澄さんが就任！

ママ鉄タレントで鉄道文化人である豊岡真澄さんが、清瀬市公式夢空間アンバサダーに就任。豊岡さんは、ホリプロ所属時に担当マネージャーの影響で鉄道に目覚め、元祖鉄道アイドルとして、数々の雑誌・イベント・番組に出演。現在は2児の母となり、ママ鉄・鉄道文化人としてイベントやYouTubeなどを通して鉄道の魅力を伝えています。引き続き、清瀬市公式夢空間アンバサダーとして、「夢空間」の魅力をSNSやYouTubeなどで発信していただきます。



豊岡さんの
Instagramはこちら



2026年2月1日のオープニング
イベントに登壇した豊岡真澄さん。

地域の憩いの場で
煌めく夜の豪華客車

日の入り後から日の出まで外観がライトアップされている「夢空間」(外観のみのライトアップです。レストラン営業中以外、車内灯は点灯しません)。美しく照らされた夜ならではの豪華客車の姿を鑑賞することができます。

※写真はイベント時の特別ライトアップの様子です。



場所：清瀬市立中央公園内
(清瀬市梅園1-613)
時間：24時間(外観のみ)

※「夢空間」前にある芝生エリアは
2026年7月末まで芝生養生のため、
立ち入ることができません。



夢の豪華客車、復活！
清瀬の未来へ、出発進行！

清瀬市立中央公園に、豪華客車「夢空間」が新たな交流拠点として誕生しました。修復を経て復活したその魅力と、今後の多彩な取り組みについてご紹介します。

地域に愛される憩いの場に
新たなランドマーク誕生！

清瀬市立中央公園内に設置されている豪華客車「夢空間」。2026年2月1日(日)に行われた清瀬市立南部児童館等複合施設「まつぼっくり」(2〜3ページ参照)のオープニングセレモニーには、約2500人の方にご来場いただき、夢空間アンバサダー就任式、点灯式なども開催し、大いに盛り上がりました。



ダイニングカー

そして、2026年5月2日(土)からは、「夢空間」を活用した飲食事業を開始。大きな展望窓が特徴のアー・デコ様式の豪華な装飾を施したダイニングカーには、4人用と2人用テーブルを3卓ずつ設置。中央部には個室もあり、ゆったりとした特

別な空間で食事を楽しむことができます。また、オール・ニューボー調の豪華な車内でドリンクや軽食を楽しめるラウンジカーもありますので、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

また、今後は「夢空間」を活用した子ども向けイベントにも力を入れていきます。図書館や児童館と連携した読み聞かせや、絵本や料理本に登場するメニューを車内で味わいながら物語を楽しむ会など、体験とストーリーが融合したイベントを予定しています。こうした取り組みを通じて、本への関心や食育の推進、施設への愛着やシビックプライドの醸成を図り、訪れるたびに新たな魅力に出会える場として発展させていく予定です。今後の展開にも、ぜひご注目ください。



ラウンジカー

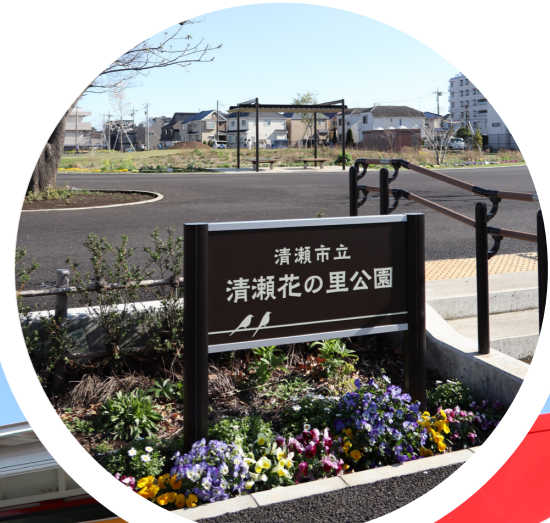
学んで、食べて、つながる一日!

みんなで楽しむ防災フェスタ

2026年2月15日(日)、清瀬花の里公園を会場に、市民ボランティアグループによる地域防災意識の向上を目的とした「防災フェスタ」が開催されました。親子や家族連れの学びとなったイベントの様子をお届けします。



消防ポンプ車の展示と乗車体験



起震車による地震体験



キッチンカーグルメ



かまどベンチの炊き出し体験



煙体験ハウス

終日多くの来場者でにぎわいました。特にキッチンカーはすべての商品が売り切れるほどの盛況ぶりでした。参加した市民からは、「いろいろな人に会えて、いろいろな話ができ良かった」「起震車では地震のゆれを学び、貴重な体験ができた」といった声が寄せられました。また、「たくさんのボランティアがいてありがたい」「芋煮が美味しかった」といった感想も聞かれました。さらに、車いす利用者が起震車体験に参加する場面もあり、消防関係者からは「これまでにない良い経験となった」との声も。加えて、「施設の利用は知っていたが、どのような場所か知らなかったのが今回知ることができてよかった」といった、新たな発見につながる意見も寄せられました。



当日は多彩なコンテンツが用意され、来場者を見て・触れて・学ぶ、実践的な防災体験を楽しみながら防災について理解を深めていました。公園内では、かまどベンチを活用した炊き出し体験が行われ、温かい芋煮の振る舞いも。消防署や消防団による防災体験コーナーでは、起震車を使った地震体験などが人気を集めました。また、隣接する特別養護老人ホーム「清雅苑」では防災講座が午前と午後の2回にわたり開催され、知識面からの備えについても理解を深める機会となりました。さらに、マルシェやキッチンカーの出店、スタンラリー、防災備蓄品の配布など、子どもから大人まで楽しめる企画が充実し、

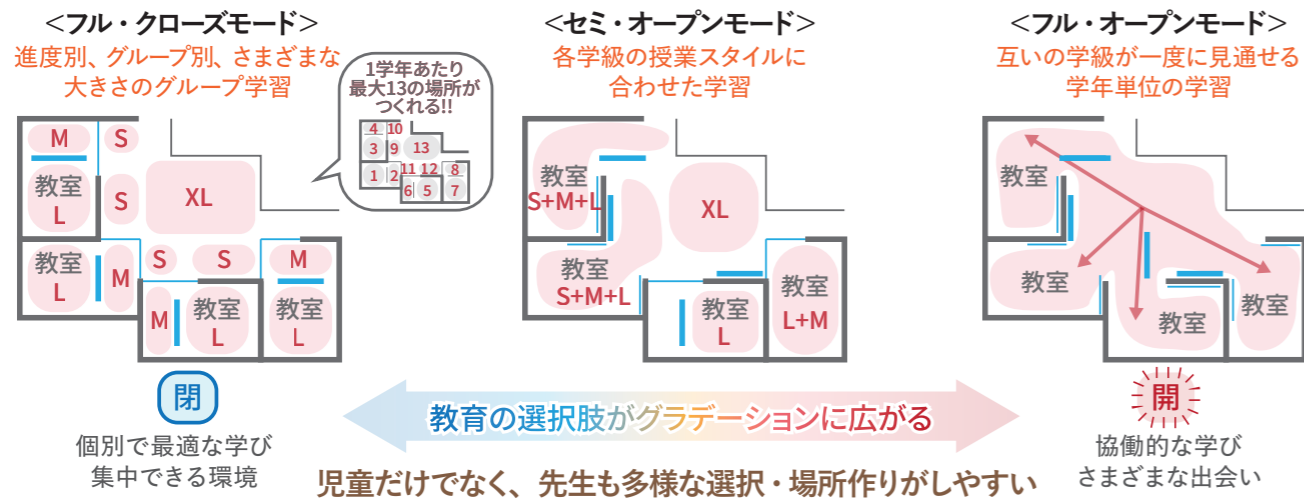
「もしもの時の備え」をいつもの公園で考えよう



01

フレキシブルに仕様を変更できる 「カギ型形式の教室」

21世紀型学校では個々の適性に合わせた「最適な学び」と、子ども同士や多様な他者との「協働的な学び」の両方の実現が求められています。さまざまな出会いの場所をつくり、教育や活動の選択肢を増やすため、従来とは異なる「カギ型形式の教室」にすることで学習への興味・関心を誘発するオープンスペースを生み出し、それらを実現します。



新校建設事業 基本設計の ポイント

2024年3月に策定した「清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画」に基づき、老朽化した清瀬小学校を改築、2029年に「21世紀型学校教育」を実現する新校の開校に向け設計を進めています。児童、教職員、学校運営協議会とのワークショップやヒアリングを通じて、清瀬小学校と市役所をつなぐ地域との交流拠点「まちミチ」の名称や機能、新校舎に必要なスペースなど具体的な意見を収集しました。今回は、新しい学校の創設に向けた基本設計がまとまりましたので報告します。

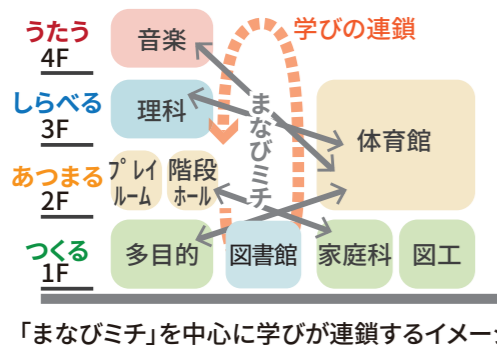


生きる力をはぐくみ
地域と共に歩む未来の学校

03

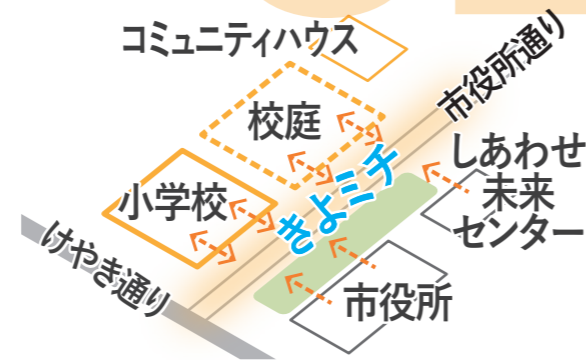
学びが連鎖する 「まなびミチ」で 新しい学習環境を形成

「つくる」「あつまる」「しらべる」「うたう」の4つの学びをつなぐ「まなびミチ」を整備し、特別教室を機能ごとに配置します。吹抜けなどで立体的につながることによって、教室をこえた出会いや気づきが生まれ、学びが連鎖的に広がります。児童の主体的な活動や創造性を高める、新しい学習環境の形成が期待されます。



02

「きよミチ」で 学校と地域、小学校と 中学校がつながる



学校と地域をつなぐ交流プロムナード「きよミチ」を整備することで、児童の安全な通学動線を確認すると共に、地域住民との自然な交流を促進します。日常的なふれあいが生まれることで、見守りや防犯意識の向上、地域との関係性強化が期待され、安心して開かれた学校づくり・まちづくりにつながります。

21世紀型 学校教育とは?

- 1 学びをつなげる**

21世紀型学校「まなびミチ」を象徴する共用学習空間
- 2 教科が「まなびミチ」でつながる**

地域共創・協働拠点「清瀬ミライラボ」を形成
- 3 学校と地域をつなぐ**

市役所通り「きよミチ」をさらなる交流軸に
- 4 空と緑とつながる**

「風のミチ」をつくり環境配慮を行う校舎
- 5 学びの環境を未来へつなぐ**

やがて訪れる中学校の立て替えを見据えた計画

安心して学べる学習環境 × 生涯学習の場としての学校 = 地域コミュニティの中核 を目指します

2026年
2月28日(土)
開催!

「清瀬市民感謝デー」

レポート

近隣自治体として縁の深い西武園ゆうえんちで、清瀬市民の皆さんを対象とした「清瀬市民感謝デー」を開催しました。多くの方に楽しんでいただいた様子をレポートします。

清瀬市公式キャラクター「ニンニンくん®」と記念撮影



1,000組をこえる応募を集めた
大盛況の清瀬市民感謝デー

2026年2月28日(土)、前年10月1日の清瀬市市制施行55周年を記念して、西武園ゆうえんちで「清瀬市民感謝デー」を開催しました。当日は、清瀬市民以外の方も75歳以上が入園無料となり、市民団体による特設ステージでの演目披露や清瀬産野菜を使った豚汁の無料配布など、多彩な催しで来場者を歓迎。清瀬市在住の家族を対象に、抽選で55組を無料招待し応募総数は1,000組をこえるなど、大変な反響となりました。参加者からは「このような貴重な機会を設けてくださりありがとうございます!」と感謝の声が寄せられました。

当日は、清瀬市公式キャラクター「ニンニンくん®」との記念撮影や、「キョセゴーゴーカレー」「純米酒きよせ」などといった清瀬市の食を楽しめるキッチンカーの出店、園内「夕日の丘商店街 魚勝」で販売している「たい焼き」の無料引換券を対象者の方全員に配布するなど、家族で楽しむ来場者の笑顔いっぱいの日となりました。西武園ゆうえんちを楽しみながら清瀬の魅力を再発見できるイベントにご参加いただき、ありがとうございました!



多彩なグルメを楽しむ
ブースも大盛況!

よさこいやフラダンスなど
個性溢れるステージ



■ 神山公園

複合遊具や芝生広場、
親水広場で多彩な遊びを楽しむ

清瀬市児童センターころぼっくるに隣接する都市公園「神山公園」。木製複合遊具を撤去し、新たにインクルーシブ複合遊具を設置しました。

※インクルーシブ複合遊具

障害の有無や年齢に関わらず、すべての子どもと一緒に遊べるよう設計された遊具。

2026年
4/1(水)
リニューアル



新しい遊具とトイレが完成! 駅前や公園がもっと楽しく快適に

駅前トイレや公園の遊具を一新し、より快適で安全に楽しめる環境を整えました。
市民の皆さまに親しまれる新たな憩いの場として、ぜひご利用ください。

2025年
5/30(金)
オープン



■ 清瀬駅南口駅前トイレ

小さなお子さま連れでも
安心して利用できるように

経年劣化や臭気対策として、トイレの内装を改修。換気扇設置や衛生器具をすべて更新し、床や壁張り替え、ウォシュレット対応、ベビーチェア設置などで、快適・安全に利用できる環境に整えました。

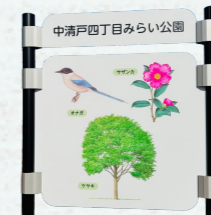
2025年
11/20(木)
リニューアル



■ 中清戸四丁目みらい公園

さまざまな公園遊具を整備し
幅広い世代が集う場に

地権者が組合を設立して区画整理事業を行い、道路や公園などの基盤整備を経て市に譲渡された公園です。ブランコや滑り台、鉄棒のほか、健康遊具も整備され、幅広い世代が楽しめる施設となっています。



地域に根ざした、想いの物語

KIYOSEのひと

Kiyose International Club
清瀬国際交流会 (KIC) 代表

石井 誠二 さん

1992年に設立されたボランティア団体「清瀬国際交流会 (KIC)」。地域に暮らす外国人と日本人が互いの違いを認め合い、共に暮らす多文化共生の地域づくりを目指し活動しています。

かつて多くの結核療養所や病院が集まっていた清瀬。現在も市内にある結核研究所には世界各国の医療関係者が研修に訪れており、1991年に市民との交流の場をつくらうと市が呼びかけ、交流会が行われました。多くの市民が集まったことで「一度きりではもったいない」「清瀬に住んでいる外国人とも交流したい」との声が挙がり、翌年 KIC が設立されました。現在は、多文化共生・国際交流、日本語教室、清瀬でも英語しゃべらん会、コーラスの4事業が行われています。

中でも中心となるのが、外国人学習者と養成講座を受講したボランティアが1対1で行う日本語教室。身振り手振りや絵なども使いながら日本語で対話を重ね、言葉だけでなく生活や文化も伝え合っています。外国人が日本社会で暮らす上で「言語・制度・心」の3つの壁があるとされていますが、KICはその壁を少しでも取り除こうと、日本語学習支援のほか防災講座や交流イベントなどを開催。中には日本語能力試



2025年10月開催、防災講座の様子。



験に合格して職を得る人もいて、「成長を見守る喜びは大きい」と石井さんは話します。

外国人を含む市民が英語で交流する「清瀬でも英語しゃべらん会」や、市民まつりへの参加など地域交流の場も多く、コーラス活動では地域の施設を訪問することも。石井さんは「違いを良い悪いではなく、理解し合い、同じ地域で楽しく暮らしていくことが大切」と語ります。そして、広報を担当する林さんは「世代によって違う文化も含めて多文化共生だと思っている。人や国が違うから面白いということをいろいろ知ることによって世界が広がっていく。それを感じられるのが、KICの存在価値だと思っています」と続けます。

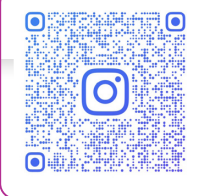
地域に暮らす人々が国籍や文化の違いをこえてつながる KIC の活動を通じて多文化共生の輪が、清瀬のまちに広がり続けています。

清瀬市観光協会の

お
押し!



ぜひフォローを
お願いします!



清瀬の魅力を発信中!

きよせ市観光大使公式Instagramを開設しました。2025年10月19日に開催した「きよせ市民まつり」で任命式を行い、活動を開始した初代きよせ市観光大使が、市内の魅力を広く発信していきます。参加したイベントの様子をはじめ、清瀬の四季折々の風景や飲食店、施設などを訪問し、その魅力を観光大使の言葉と写真、動画などでお届けします。今後もさまざまな情報を積極的に投稿してまいりますので、ぜひフォローと「いいね」をお願いします。

【アカウント名】
きよせ市観光大使 (@kiyose_city_tourism_ambassador)

more! KIYOSE vol.11

企画・発行：清瀬市シティプロモーション課
プロモーション係
発行月：2026年5月
問合せ：042-497-1808 (直通)



清瀬市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

みんなの力で
大江戸線を清瀬市へ

本誌掲載内容の無断転載をご遠慮ください。
©2026 more! KIYOSE all rights reserved.

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見や感想、
気になる情報や見てみたい
企画を募集中! これまでの号
も合わせてぜひご覧ください!

ご回答は
LoGoフォームへ



バックナンバーは
こちら

